



グリーンピア岩沼の今後

櫻井 隆



問 6月議会では、第一ホテルサードピエ株式会社との契約終了後、引き続きホテル事業を行っていただけの事業者の可能性を探るとの回答であったが、その後の状況を伺う。

総務課長 対話型市場調査を実施しており、7月下旬から民間企業の皆さまにご意見を伺い、現地調査、現地見学会を実施しています。
問 公募の時期は、いつごろを想定しているのか。

総務部長 年内中に公募したいと考えています。

問 12月以降、入浴施設の部分を岩沼市が直接運営する計画はあるか。

総務部長 費用対効果から考えると、現時点では単独で入浴施設を運営することは考えていません。

温泉を掘削してはどうか

問 観光振興の視点から、グリーンピア岩沼に温泉を掘削してはどうか。

総務課長 平成8年に温泉開発調査を行いました。その結果、ホテル

周辺では温泉開発の可能性が低いという結果が出ています。そのため、掘削を試みることは難しいと考えます。

問 ホテル周辺以外で調査した場合所はなかったのか。

総務課長 イベント広場、七堤の近くで調査しています。イベント広場の近くは比較的可能性がありますが、ホテルから距離があり、難しいと判断しています。

問 スポーツ施設の利用料金については、市民利用者と市外利用者との区別がなく、同一料金になっている。今後、料金の差別化を行うべきと思うがどうか。

総務課長 スポーツ施設の中でフットサルコートは、使用料金が市外の類似施設と比べると低料金になっています。民間と競合する施設については、適宜改定を検討します。

問 市外利用者と同一料金では、税金を払っている市民は納得しない。早急に検討してはどうか。

総務部長 来年度中に検討に入ります。



ごみ屋敷問題

菊地 忍



問 全国各地で近年問題となっているごみ屋敷問題は、高齢者の独居問題なども相まって、今後の日本社会においてますます増え続けることが予想される。

岩沼市ではどのような対応を取っているのか伺う。

生活環境課長 ごみの不適切処理に当たる住宅所有者への対応方針となりますが、なかなかその原因者の方に出てきていただけがないというところで、うまく話せないような状態という形になっています。

問 近隣住民の皆さんの気持ちを考えるともっと寄り添い、もっと積極的に原因者への対応を行う必要があると思うがどうか。

市民経済部長 難しい案件ではありますけれども、地域と、場合によつては保健師などと連携しながら協力し、進めていきたいと考えています。

問 ごみ屋敷問題における課題と、今後の取り組みについて伺う。

市民経済部長 原因者の心のケア、そういつたところも含めた長期的な対応が必要になってくると考え

ています。
ごみ屋敷になる前に対応していきたいと考えています。

ごみ屋敷条例を制定して

問 全国の状況を見ると、82の市区町村で既に条例が制定されているという状況を考えると、岩沼市としても、ごみ屋敷に住む人への指導・勧告を行い、指導等に従わなかった場合における氏名の公表や改善命令および行政代執行等に係る手続きを定めたごみ屋敷条例を制定してはどうか伺う。

市長 最終的には条例を制定することになりますが、できるだけ当事者に接触をして、協力をお願いしていこうと考えています。

状況、進み方であまり効果がなるとなればそういう手段も考えていく必要があるだろうと思います。

◎その他の一般質問
・職員採用状況